

ご卒業おめでとうございます。

4月、新元号「令和」が発表になりました。10連休中に「令和」に元号が変わり、すぐに修学旅行でした。いろいろなことがありますが、エコバッグづくりは、楽しそうに、そして、かなりの芸術品に仕上がった人もいたのではないのでしょうか。

2学期の体育祭、合唱祭は、“中学校生活最後の”がついたわけですが、殻を破っての応援、競技に真剣に取り組む姿、そして、文化ホールに響き渡った合唱、どれもみな印象的でした。30周年記念行事も、またとない機会でご貴重な1日になったと思います。

そして受験。自分の中で精一杯勉強に取り組み頑張った人、頑張ったけど結果に結びつかなかった人、あまり頑張らなかったけど結果が良かった人など、さまざまいると思いますが、この時期に体験したことは、今後の自身の成長にとって必ず生かされると思います。今後は、大きな夢に向かって、新たな挑戦をしていってください。

副担任 宮内 淳一



ご卒業おめでとうございます。

今、“人生100年”時代といわれるようになり、皆さんは15年が過ぎました。“まだまだ、15年じゃないか”と思うか、“いや〜、もう15年たってしまったか”と思うかでは、雲泥の違いがあると私は感じます。15年間を振り返って、生まれたとき（覚えているはずがないか？）から、何事もなく無事に迎えることができたこの良き卒業の日、一人ひとりがどんなことを感じているか、聴いてみたい気がしました。そして、その答えが“親への手紙”だと思います。

いつも感謝の気持ちを胸に、大海原へ力強く船を漕ぎ出してください。これからの活躍を願っています。

進路指導主事 細貝 光市

